

JALSG Young Investigator ASH Travel Award

ASH 参加報告文

NTT 東日本関東病院 血液内科 日野 俊哉

この度は第58回米国血液学会(ASH)に参加するに当たり、JALSG Young Investigator ASH travel Awardに選出いただき、誠にありがとうございました。初めての国際学会への参加であり、想像以上の規模の大きさに大変驚きましたが、世界各国からの様々な方がこれまでの知見の確認から最新の研究結果まで幅広い発表をされているのを聞き、日々医療の発展のために世界中で新規薬剤や治療戦略についての数多くの研究が行われていることを実感し、大変刺激的で実りのある時間を過ごすことができました。

学会の中での発表はどれも興味深いものばかりでしたが、特に印象深かった発表はLate breaking sessionでのrefractory aggressive NHLに対してCD 19 を標的としたCAR-T療法(Kte-C19)を用いたZUMA-1 trailの第II相試験の中間解析の報告でした。CAR-T療法は種々の血液疾患での臨床研究が進行しており、今回の学会でもCAR-T療法についての発表が幾つかされておりました。ZUMA-1 trailの第II相試験の中間解析では、全奏効率が76%で、47%でCRを達成しており、historical cohortであるSCHOLAR-1での全奏効率26%、CR8%と比較して良好な結果が得られ、Kte-C19の臨床における有用性について示唆されておりましたが、今後の追跡結果の報告が待たれます。

現地ではJALSGの中核を担う先生方や他のAward受賞者の方々とお話しさせていただく貴重な機会も設けていただき、非常に有意義な経験となりました。ASHで発表される臨床研究の多くは大規模研究が一般的であり、JALSGのように施設間で連携し研究を行う組織の必要性を改めて感じました。今回の国際学会での経験を生かし、今後も自分自身の研鑽を積んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、このような貴重な学会への参加をサポートいただきましたJALSG 支援機構の先生方ならびに事務局の皆様、この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。